



地域で子どもを育てる

野田小コミュニティ・スクール



茨城県小美玉市教育委員会

指導主事 八木 健

小美玉市立野田小学校

校長 櫻井 保男

学校運営協議会会長 高野 晴夫





野田小学校はどんなところ？

- 野田小学校は全国で2番目に大きい湖「霞ヶ浦」の北東部、茨城県のほぼ真ん中にあります。
- 学校から車で5分の位置には2010年3月に開港した茨城空港があります。
茨城空港は航空自衛隊百里基地と共用飛行場であり、学校には隊員の子どもたちもたくさん通ってます。
- 学区内の特産品は「にら」「メロン」「いちご」など、おかめ納豆を製造するタカノフーズの本社工場もあります。





茨城県で唯一1校

- 野田小学校は茨城県内で初めてコミュニティ・スクールを立ち上げ、現在においても唯一実践している1校です。
 - まわりに参考となる学校、情報交換ができる学校がない
 - 手探り状態での運営
 - すべてがチャレンジ!!

※コミュニティ・スクールでは何をすべきなのか？

野田小だけの野田小らしい
「コミュニティ・スクール」を実践



コミュニティ・スクール導入のきっかけ

- 昔から地域で子どもたちを育てる意識が強い
 - 1軒、いも2俵を寄付して土地を購入し校庭を拡張
 - ボランティアで学校建設に協力(労力提供)
 - 教育後援会を設立し、子どもが学校に通っていない家庭も会員となり、野田小の応援団となっている(設立 昭和52年)
 - 学区コミュニティを立ち上げ、子どもを中心に地域のコミュニティ活動を実践

学区コミュニティとPTA・教育後援会を連合組織に!!



野田小 コミュニティ・スクール



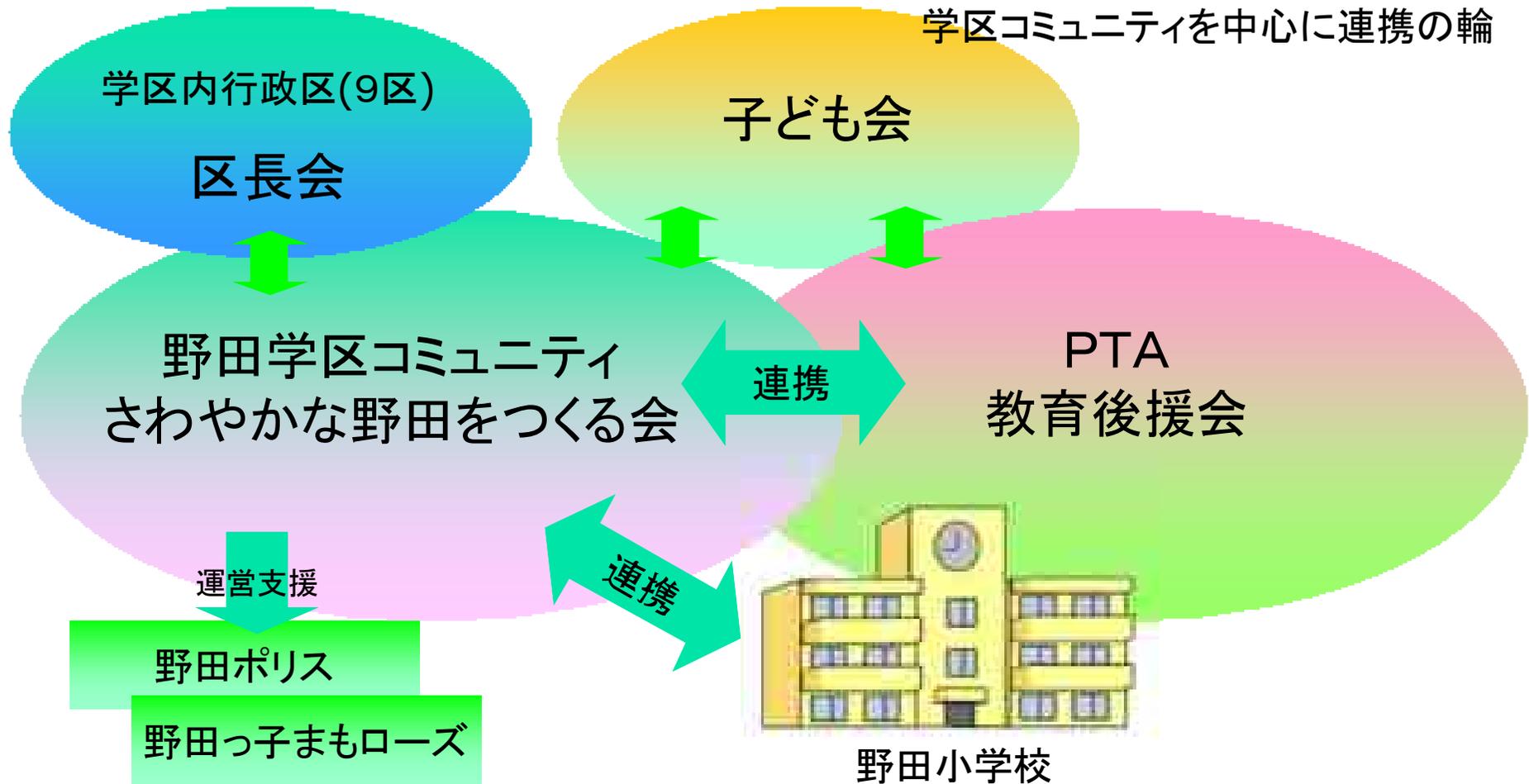
コミュニティ・スクールの導入まで

- 平成18年5月
 - ・ 防犯ボランティア「野田っ子まもローズ」が会員30名で発足
現在の登録会員数200名
- 平成19年7月
 - ・ 野田学区コミュニティ「さわやか野田をつくる会」が発足し、会員世帯数700軒でスタート
- 平成20年7月～12月
 - ・ 学区コミュニティと子どもたち(学校)が共同で「食育カルタ」を制作
以降毎年1月には学区コミュニティ主催によるカルタとり大会を開催
- 平成21年度～22年度
 - ・ コミュニティ・スクールの推進に係わる調査研究校に指定され、小美玉市教育委員会の指導のもと2か年の研究を始める
- 平成23年7月
 - ・ 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)スタート





学区コミュニティとの強力な連携





昨年度からの新たな取組

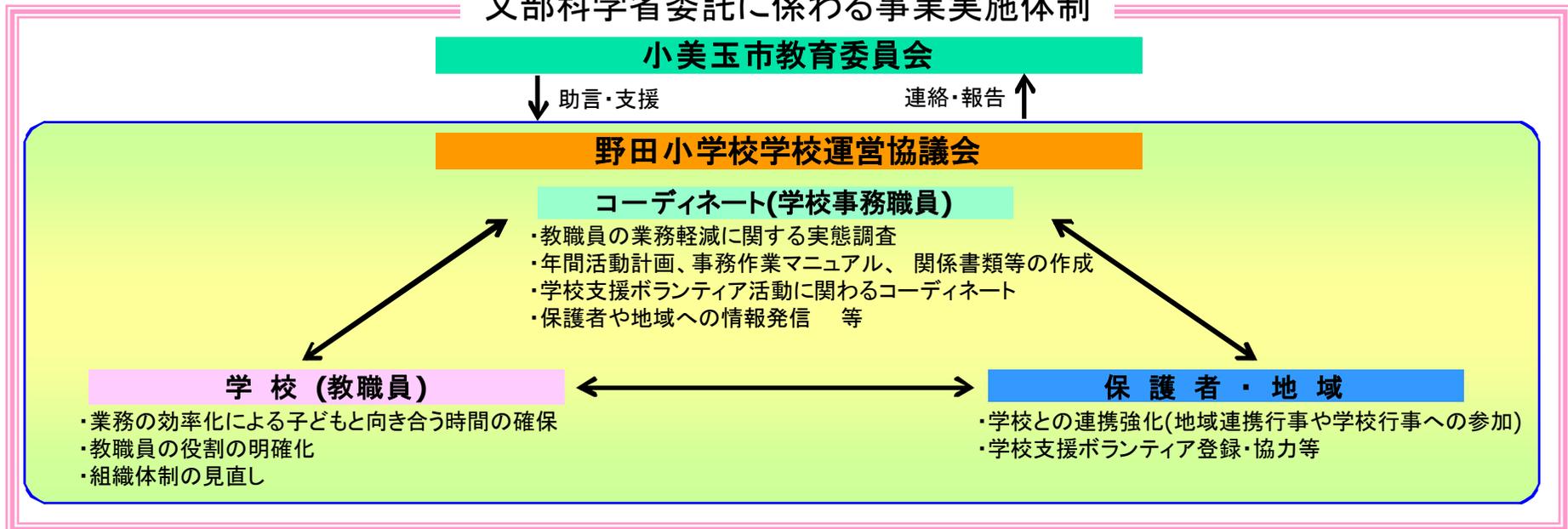
■ 克服しなければならない課題

- 学校と地域をつなぐコーディネート機能の問題(係わってきた教職員の異動の問題)
- 教職員の子どもと向き合う時間確保の問題(教職員の業務の軽減の問題)

■ 文部科学省の委託事業として

- 事務職員の加配を受け、コミュニティ・スクールのマネジメント力強化を目指した研究を行う

文部科学省委託に係わる事業実施体制





野田小コミュニティ・スクールの役割



- 本校としての「コミュニティ・スクール」の役割
 1. 学校運営の基本的な方針等を承認する活動
 2. 学校運営の基本的方針に基づき、学校の運営状況の点検・評価に関する活動
 3. 学校の教育活動等に関して、地域住民の参画促進及び情報発信を行う活動
 4. 学区コミュニティとの積極的な連携と児童の健全育成・安全確保に関する活動
- 野田小コミュニティ・スクールの組織

野田小学校学校運営協議会

地域教育部会

地域における行事の推進、児童の健全育成及び安全指導に関する活動

- 野田学区コミュニティ連携行事の推進
- 野田っ子まもローズ活動の強化

コーディネート部会

学校の教育活動に関する家庭や地域住民等の積極的な参画に係る活動

- 家庭や地域との連携を図った学習指導、その他の教育活動の推進
- ボランティアの募集

評価部会

学校運営の基本的方針に基づき、学校の運営状況を点検及び評価に係る活動

- 学校評価計画案作成
- アンケート調査等の実施
- 学校評価の実施・分析・公表



活動の紹介(学校運営協議会)

①大激論の委員会

- 定期的に開催される委員会には幅広い年代のメンバーが参加し、大激論となることもある
 - 今の子どもの問題点やその解決策
 - 保護者の資質や責任
 - 教師や教育委員会のあり方
 - 時には教育に対する持論をぶつけ合うこともある
- 通学路の問題なども話し合われ、役所に対し要望をすることもある
- 学校行事のあり方・・・地域の人々が積極的に参加できる行事の検討等々





活動の紹介(地域教育部会)

②野田っ子まもローズ

- 現在の会員数は学区内住民約200名
- やれる人がやれることをやれるときに決して強制しない



- 外で子どもたちに出会ったときに声かけ
- 家の前を歩く子どもたち、車に乗っているときすれ違った子どもたち、仕事をしている前を通る子どもたちへ目を向ける
- 時間に余裕がある方は登下校時の見守り

どれか1つでもできる人は
会員の資格あり！

野田っ子まもローズは平成23年10月に文部科学大臣奨励賞を受賞しました

- 会員になったことにより外を歩いている子どもたちを気にするようになった。
- 子どもたちから「おはようございます」と言われるのがうれしい
- 子どもたちと毎朝学校まで歩くのが生きがいです。

多数の感想をいただいています。



活動の紹介(地域教育部会)

③親子で楽しい運動

学区コミュニティ主催の「親子で楽しい運動」は専門の講師を迎え毎年実施し、3世代が一緒に汗を流します



運動後は地場の食材を使った昼食をみんなで一緒に食べます。

昼食は管理栄養士が栄養のバランスをきっちり計算したものです。





活動の紹介(地域教育部会)

④カルタとり大会

学区コミュニティと子どもたちが
共同制作した「食育カルタ」を用
い、毎年カルタとり大会を実施

現在は2代目カルタを使用



単にカルタとり大会を楽しむだけでなく、食育カルタを通し、保護者・子どもたちが一緒に食育の大切さを学びます。



活動の紹介(地域教育部会)

⑤健康まつり「ふれあい運動会」

野田小の校庭に学区内の3世代が一堂に集まり、「健康を考える日」をテーマに今年で5回目の実施になります。

パン食い競走、風船わり競走、つなひきなど、子どもたちからおじいちゃん・おばあちゃんまで楽しく1日を過します。



子どもたちと地域の大人たちの交流の場を作ることによりお互いが顔見知りになることが最大の目的です。

顔見知りになることにより、いざと言うとき守るべき子どもは誰なのか？助けを求める大人は誰なのか？お互いに確認してもらおう。





活動の紹介(コーディネート部会)

⑥ゲストティーチャーによる授業



<地域のお医者さんをお呼びして>

コーディネート部会では

- 地域の人的資源の活用を
- 地域住民の教育活動への積極的な参画を
- 地域の方と子ども達の交流を

目的に、地域の方を学校の教育活動に参加していただく取り組みを行っています。

地域の方や地域から学ぶという機会を増やし、地域の一員としての自覚を高めたいと考えます。



<スポーツ大好きお父さんをお呼びして>



<元学校の先生をお呼びして>

※コーディネート部会の主な活動

①担任や担当へのよびかけ

- 年度初め 及び 各学期
- 必要な教材 及び その他の活動

②学習ボランティアの募集

③必要な授業へのコーディネート

- 授業日、授業時間等の調整
- 授業者やボランティアへの連絡



活動の紹介(コーディネート部会)

⑦ 中学校との交流



<中学校の音楽の先生が合唱指導を>



<中学生が挨拶運動に参加>

中学校と連携し、子ども達が活躍できる場をつくり、健全に成長できるよう努力しています。

- 先生方の交流
- 児童と生徒の交流
- 学校間の交流 など



夏休み中学生が・・・

優しさの中にも、先輩としての
の厳しい指導がありました。



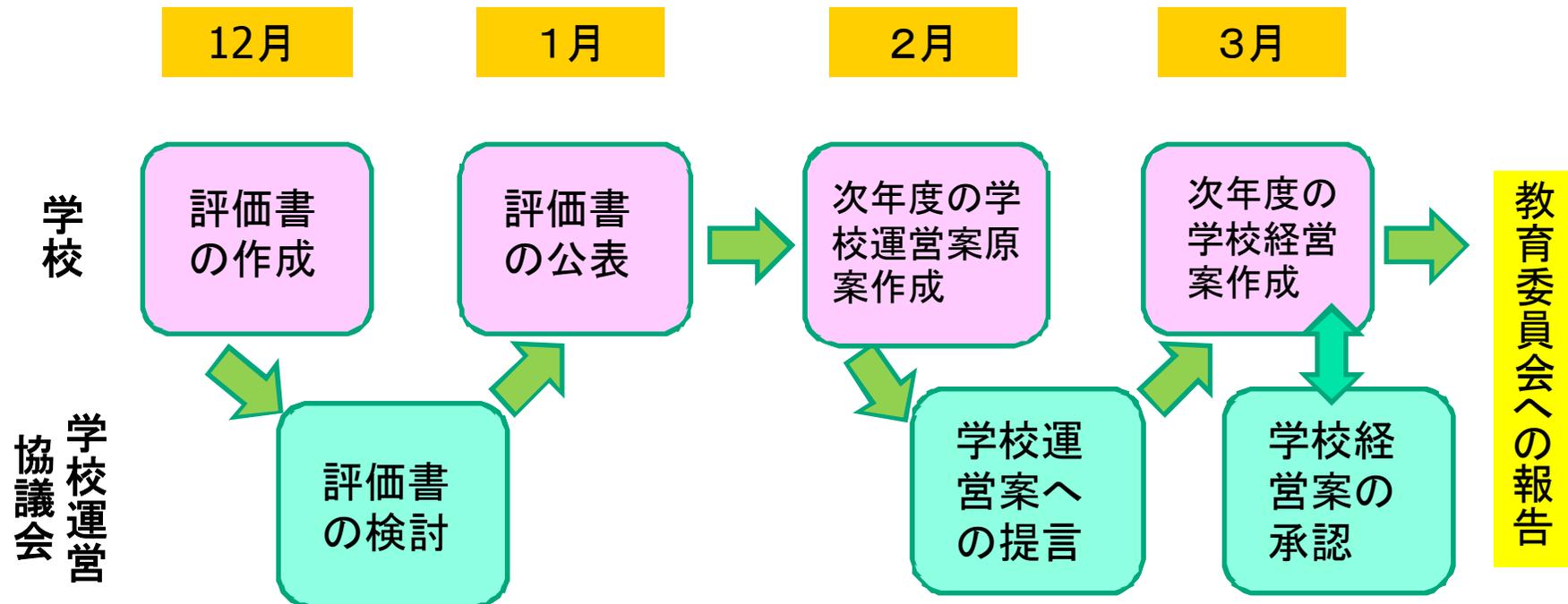
おかげで優勝できました
ありがとうございました





実践の評価（評価部会）

- 学校評価とともに学校運営協議会として年2回、**教員・保護者・児童**を対象にアンケート調査を行っている。
- アンケート集計後

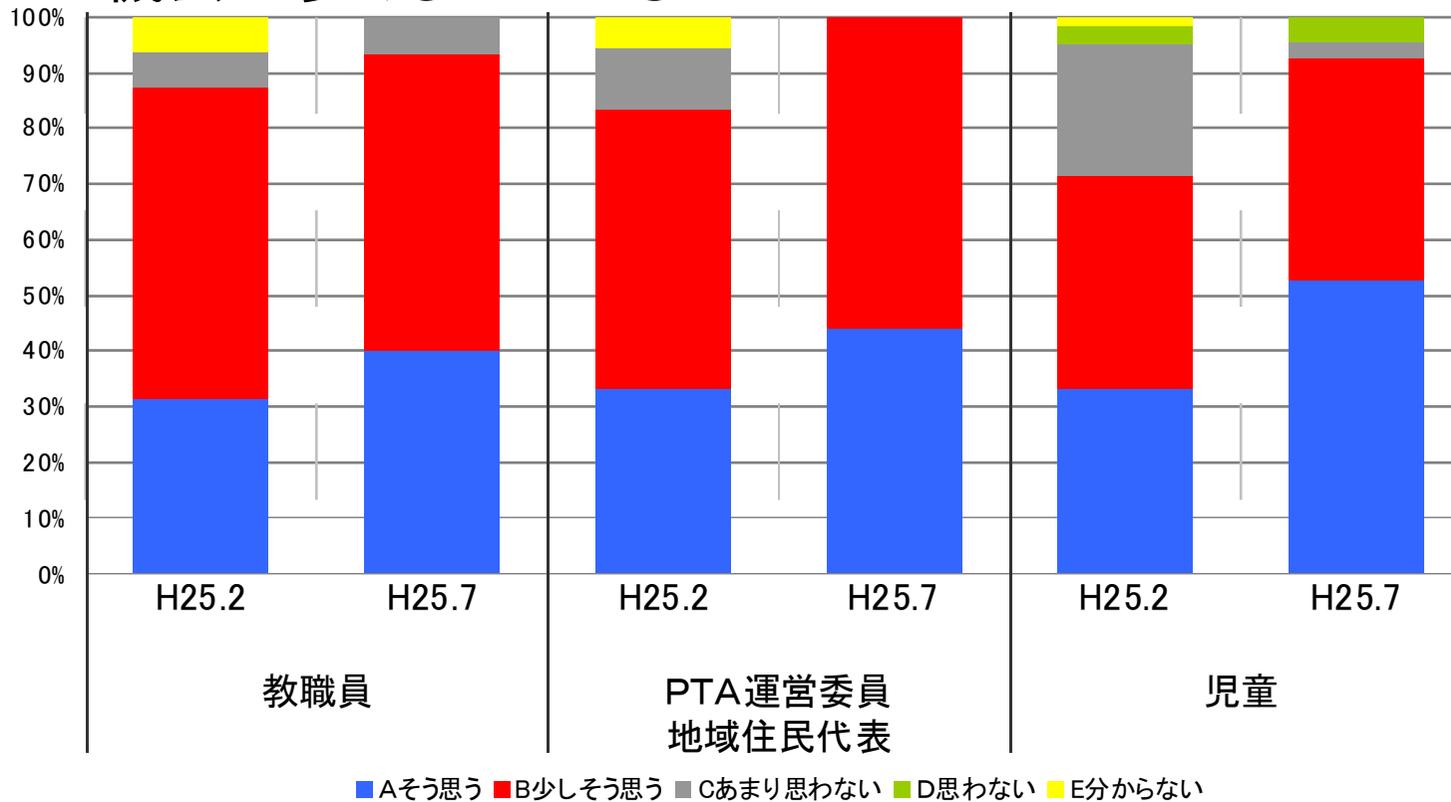




取組の成果①



地域・学校・家庭・子どもたちとの交流やふれあう機会が多くもっているか

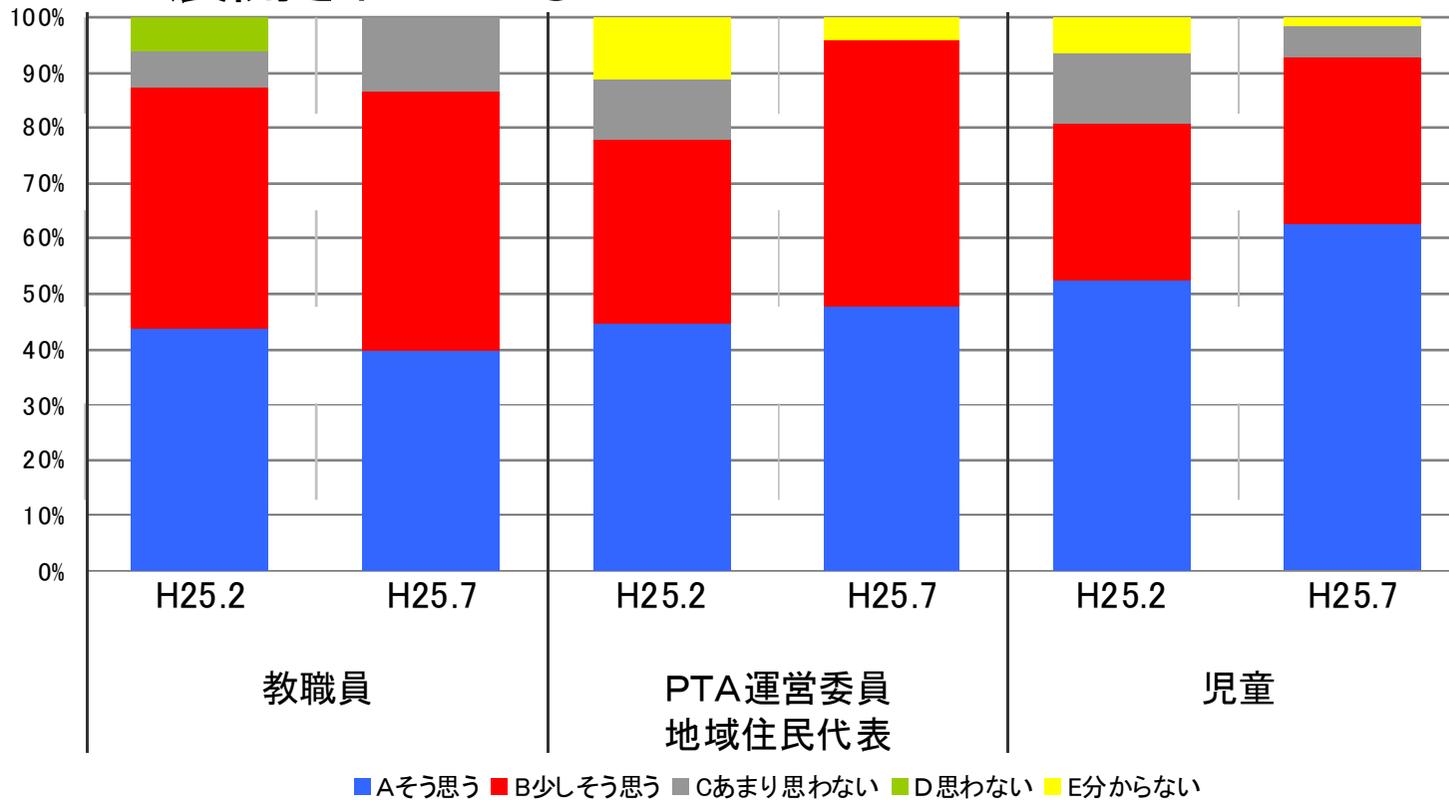




取組の成果②



学校では、地域の人材や素材を活用した学習活動が展開されているか





これからの取組

ずっとつづくコミュニティ・スクールにするために

認知度・理解度のUP

まだまだ野田小が取り組むコミュニティ・スクールは地域だけでなく、保護者も理解不足のところがあり、十分な活動となっていないところがある。
コミュニティ・スクールの広報を充実し、たくさんの方の理解と協力をいただけるようにする。

中学校区を中心とした コミュニティ・スクールへの発展

現在野田小が所属する中学校で「小川北学区コミュニティ委員会」と言う組織を立ち上げ、地域と教職員・生徒が一体となり子どもたちを取り巻く環境を改善し、子どもたちを育成する活動が始まった。
将来は中学校を中心に小中一環のコミュニティ・スクールを目指したい。



茨城県小美玉市立野田小学校

校門から校舎へつづく桜ロード

児童： 225名
教職員： 21名

<http://www.city.omitama.ibaraki.jp/noda-e/>
e-mail 510702@sch.ibk.ed.jp